

政治・行政情報を 後世に引き継ぐために

「政治」と聞いて「身近」と感じる人はほとんどいないだろうが、その重要性を否定する人もいないだろう。政治に関する情報を比較・検討し、将来の国づくり、街づくりに資する議論が深められるウェブサービスが注目され始めている。それが「政治山」だ。

3 66日、365日、358日、266日、452日……小泉純一郎氏が退任した後、菅直人氏までの各首相在職期間だ（安倍、福田、麻生、鳩山、菅の5首相）。宰相がコロコロ代わる中で、国民の政治不信は深まっている。しかし、身の回りのあらゆるこ

とが決まるのは政治の場。TPP、消費税率など国政レベルの問題から、道路や学校の補修、介護サービスなど生活レベルの話まで、私たちの暮らしは政治抜きに語れない。

だが20〜30代のビジネスパーソンで、「政治に真剣に向き合ったことがある」という人はあまりいないだろう。その垣根を取り払う可能性のあるサービスが昨年誕生した。政治情報

プラットフォーム「政治山」だ。選挙や議会の情報を公開したり、注目の政治課題についてアンケートを実施、さまざまな意見を紹介したりしている。インターネットはもはや、情報ソースとしてもエンターテインメントのよりどころとしても欠かせない存在。政治、特に選挙といつまでも距離があつていはずはない。この「政治山」は2011年3月のオープンからまだ1年にも満たないが、月間のPV数は30万件と着々と充実してきている。

開設したのは、「情報資産の銀行」を掲げ、ネットを活用したデータ管理やマーケティング代行を行っている東証マザーズ上場のパイブドピッツ。「情報資産の銀行」とは、金融資産を預かり資産運用を手伝う銀行のよ

手企業、官公庁含む2300件を超える導入実績を誇る。

「政治山」の目的の一つに、政治に関する情報開示を促すことがある。例えば、議案に対する賛否が、議員の個人名で明らかにされているところは少ない。議論の内容を含めたこの手の情報は、議会だよりや議事録で分かるとはいえ、こうした紙の資料を読んだことがある有権者がどれだけいるだろうか。全国の自治体、議会が「政治山」に情報を提供すれば、各自治体・議会の情報を簡単に比較できる。既にほぼすべての選挙情報が掲載されており、今は政治家と議会の情報掲載に力を注いでいる。

「政治山」の名は、佐谷宣昭社長が緑豊かな四国の愛媛・今治で生まれ育ったことが関係している。「山はずっと人間の営みを見ている」ところから、象徴的に「山」とつけたという。佐谷社長は「政治山」の意義についてこう話す。

「民主主義は多数決で物事を決めますが、100対0ではなく51対49といった僅差になることが少なくありません。これまでに数えきれないほどの議論や政治的決断が行われてきましたが、時代が変われば国民が選ぶ答えは変わります。過去に49だった意見が、将来過半数を取るかもしれません。49の側の意見を知ること、議論当時の状況が分かるのです。後

世のためにストックすることが重要なことです」

同社は、AKB48の総選挙で選挙管理事務局としての役割も果たし、不正行為がないかの監視や、投票結果の分析・公表をしている。AKB48の選挙はCDを購入すると投票権が得られる仕組みだが、信頼性の高いシステムがあれば住民基本台帳などを使うことで、現実には一人一票を担保できるかもしれない。ネットでの選挙運動や投票が可能になれば、国民の政治参加は促されるはずだ。

オープンしたのは東日本大震災直前の3月2日。サービスを軌道に乗せるのは大変だったようだが、同社の想いは強く、1年弱の間に着実に



佐谷宣昭
SATAKI Nobuaki

利用者を増やしてきた。震災を契機に、政治や自治、身の回りの事柄に関心を持つ人が増えている。佐谷社長は「政治山」は、なるべく地元、自分たちの街、身の回りのことについて議論が行われる場にした」と言う。身近な話題や問題についての議論や会話が增えることで、「崩壊しつつある」といわれる地域コミュニティも再生されると考えているのだ。

2011年の世相を表す「今年の漢字」は「絆」。ソーシャルメディアもすでに欠かせない存在になりつつある。人と人をつなげること、つなげる人、つなげるサービスの重要性はますます高まるはずだ。日ごろから身近な問題に関する議論に参加していれば、また、議論しないまでも情報を入手しようとして参加していれば、自分が属する自治体やコミュニティに対する意識も変わるだろう。ハブになる可能性を「政治山」は持っている。

佐谷社長は、「有権者と政治家のコミュニケーションの質を上げるためのメディアにしたい。『今の政治に不満がある』という方は、まずのぞいて、政策の議論に関わって欲しい。有権者だけでなく政治家にもどんどん参加してほしい」と話している。

有権者の生活と政治がかい離的な状況にある今だからこそ、日常的に政治的コミュニケーションが行われるための器が必要なのだ。

政治山とは?
官公庁・自治体・政党などがそれぞれ所有・管理する政治の情報を収集・一元化するプラットフォーム。選挙や議会に関する情報提供や政治ニュースの配信、各種調査の実施・公開をしているほか、議論の場も提供している。また政治家向けにホームページ開設、メールマガジン配信などのサービス提供も行っている。
株式会社パイブドピッツ
東京都港区赤坂2丁目9番11号
オリックス赤坂2丁目ビル2階・3階
03-5575-6647

- 政治山 5つの特徴**
- 選挙時以外の政治参加が可能
 - 自身の情報を訴えることが可能
 - 活動・方針を訴えることが可能
 - 他の自治体との比較・対比が可能
 - 自身の研究成果を発表することが可能

